

山スぺの歴史

スプリントの民間タイトル戦である“山スぺ(山川特別)”は、各地で行われているパーク O のツアー戦、そしてスプリントの全日本大会も継続して開催されるようになりましたが、2011年2月千葉県での全日本リレー前日に以下のように開始されました。

【引用】 http://www.orienteering.com/~ymoe/event/2011/yamasp/yamasp_01.pdf

オリエンテーリング第1回山川特別(通称山スぺ)要項 2011年2月19日(土)開催

全日本リレー(千葉県山武市)の足慣らしに!
主催:ヤマカワオーエンタープライズ(YMOE)
場所:千葉県八千代市村上緑地公園

全日本リレー開会式会場まで車で1時間

スプリントOのタイトル戦!

山川が前から暖めていた新しい大会を立ち上げます。日本のオリエンテーリングにも新しい可能性が見えてくるといわれて開始されたスプリント種目のオリエンテーリング、スプリントの全日本選手権も始まり、公認大会、ツアー戦などいろいろな方法が各地で取り組まれています。この大会はさらに新しい息吹を与えるものです。仕組みは簡単、勝った者がチャンピオンになるといういわゆる“民間タイトル戦”です。色々な団体が乱立して認定しているボクシングやプロレスのタイトル戦みたいなものを想定しています。登録者とか公認とか資格とか一切なし、運営面での縛りもなくもゆるゆるです。ジェネシスマッピング社を畳んだ後、新会社の運営方針とかの整備をすることなく日々忙しく現場仕事(この時期はほぼインカレ絡み)に忙殺されていますが、この大会は自分のビジョンに沿った新しい大会をぜひ始めてみたく創設するものです。(インカレ仕事が終わって新会社の体制が整い次第、刷新した運営方針なども公示していきます。)この大会はいわゆるブランド戦で、毎回私が開催するものではありません。誰でも山スぺを開催することができます。しかし、この仕組みが、この種目の更なる普及拡大に寄与するものだと信じて挑戦していきたいと思います。

山スぺの仕組み

1. スプリントオリエンテーリングのタイトル戦です。階級は当面文末の通り
2. 年間3~4回の開催を目指し、その間勝者はチャンピオンとして君臨できます。
(ツアー戦のように何回かの総合点でなく、勝てば即チャンピオンです)
最上位階級のチャンピオンの証として、遠征バッグなどにつけておけるお洒落な缶バッジが持ち回りのチャンピオンベルト相当のものになります。その他の階級では小さめの缶バッジを回毎に進呈します)
3. 1位以下は(階級ごとに10位とか20位とか)ランキング制になりますが、これはコミッショナー(山川)が実績を元に決めて行きます。回数を重ねるごとに吟味する内容が増えて行きます。順位付けでは力量以外にも参加回数なども考慮され、ツアー戦のようにランク外の小点数までポイントを計算する面倒はしません。(ボクシングでは世界ランク10位までがチャンピオンの挑戦権を与えられますが、ここではランク外からでも、オリエンテーリング界以外からの挑戦でも、なんでもありです。
4. “公正さ”さえ保たれていれば(その日地図・コースを見ていない)、資格・登録・事前申込など一切の運営上の制限がありません。どこからでもだれでもが当日申込でも道場破り的にタイトルに挑戦することができ、勝った者に“スプリントナビゲーションファイター”の称号が与えられます。
5. 逆に制限がないということは、公認大会や他のツアー戦ともどのようにも兼ねることができます。(兼ねる場合は相手の大会の運営縛りに制限されることとなります。)山スぺは山川が行う大会ではなく、いわゆるブランド。だれでもこの大会を山スぺ指定にしようと思えばできる仕組みです。ぜひ申請してみてください。詳細は別途相談。ある回では私も参加に回ってヘビー級タイトルを目指します?
6. 山スぺブランドに足る大会とは、大体100名以上の参加が見込まれる大会であること。地図・コース作成に対する力量が十分であること。計時から速報までをきちんとできること、それ以外は一切制限無し。力量の足りない部分で、プロのサポートが必要であればご相談下さい。この仕組みが、大会を開きたくても力量的に躊躇している団体を後押しすることに貢献できればと思っています。第1回は自前開催しますが、以下のようにゆるゆるの運営でいきますのでこれでも良いものなのだと是非、この新しい枠組みに参画してみてください。

その後山スぺは5回開催されましたが、山川以外の主催者からの申し出はなくすべて自前での開催でした。

2011.2.19	第1回(八千代村上緑地)	チャンピオン	小林 遼・渡辺円香
2011.10.1	第2回(日光根室)	チャンピオン	藤沼 崇・皆川美紀子
2012.5.3	第3回(広島スコラ高原)	チャンピオン	松澤俊行・加納尚子(皆川さん欠場)
2013.8.25	第4回(駒ヶ根高原)	チャンピオン	松澤俊行・井手恵理子(加納さん欠場)
2013.12.14	第5回(夢の島公園)	チャンピオン	松澤俊行・加納尚子

その後の変化としては、最高クラス以外はこのステータスを維持できる基準に達しておらず、単にバッジが進呈されるイベントと化し(1. の“階級”や3. は意味を成さず)、最高クラスだけがタイトル戦として維持できてきています。(女性のチャンピオンは衆人環視の中で走るのを嫌がって辞退され、防衛戦としての観戦ができないこともあったり)また、基準 6 に関しては、目標であってもっと小さな規模の大会でも“山スペ”大会とすることができるとしています。

それで、今般つるまい OLC 様より、クラブ大会を“山スペ”としたいという申し出をいただき、快諾をしたのですが、広報の遅れもあって、前チャンピオンには残念ながら参加していただけないことになりました。各地で多くの大会が開催される日で、また日本代表選手の強化合宿も同時に開催される日なので仕方ないことではあります。特に 3 連勝中(2 連続防衛中)の松澤俊行さんからは、お誘いしたものの広報の遅れからすでに参加する別の大会を決めておられ、氏にも大変申し訳ないことを致しました。かといってつるまい OLC 様の申し出をお断りするのもまた失礼にあたり、またユルイ民間タイトル戦という趣旨にもそれはそぐわないので、松澤様にはメールで了承していただいた上で、山スペに新たなルールを加えることと致しました。ボクシングの世界タイトルでは各団体が乱立し、こういうことも起こるよね、というルールを設定しました。

7. チャンピオンとの対決が実現しない場合(前王者が都合で参加できない場合)、勝者は”暫定王者”として認定、その次の山スペにて対決が実現するまで前王者の称号は剥奪されることなく、次回レースで対戦する。(対戦が実現するまで招待も継続、但し 3 回欠場すれば剥奪)

ということで、第 7 回山スペ(本年 9 月 13 日 7 人リレー前日)では、一般参加者>暫定王者>松澤の順に出走、松澤が勝てば 3 連続防衛、暫定王者が勝てば 2 度目の防衛ということになります。(但しアジア選手権出発日なので、さらに暫定王者が増えるかもしれません)第 8 回山スペは本年 12 月 27 日広島 OLC の大会で開催予定です。また女子の加納さんもこの新ルールにのっとれば、第 4 回を自転車の世界選手権で欠場し、第 5 回で招待出走しましたがこのレースで勝利したので、2 連勝中、1 回防衛中のチャンピオンということになります。さらに運営上の都合でさらにゆるく運用したいケースにも備えて以下のルールも追加します。

8. チャンピオンは挑戦者全員がフィニッシュした最後に衆人環視の中で出走し、タイトル防衛戦として出走する。但し、運営の都合によっては先にチャンピオンが走ることもありとする。できるだけ多くの観衆が見ている中で走る環境を提供することが望ましい。

[また、本広報が遅れに遅れて、大会直前となってしまったことに関しても深くお詫び申し上げます。](#)

チャンピオンクラス以外でもバッジイベントとしては継続しており、今回のつるまい OLC の大会でも各クラス上位 3 名の方には特製バッジを進呈致します。(但し、要項によると当日の表彰式はなく後日賞状を送付とありますので、その際にバッジも一緒に送っていただくことに致します。)

下に歴代のバッジを展示します。今回のバッジは水辺の公園に鶴が舞う様をデザインしてみました。



今回のつるまい OLC バージョン



※ 山スペはブランド戦であり、タイトル戦です。山川が直接地図や運営に関わらないスプリント大会でも、「山スペ」という大会名を冠することができます。あなたのクラブ(団体)の大会も是非、山スペ開催に名乗り出て下さい。賛同していただける大会を募集中です。よろしく願い致します。費用面でのロイヤリティの支払い等面倒な規制はありません。(バッジは YMOE 社からの進呈品で大会主催者の費用負担は原則ありません。)詳しくは山川までお問い合わせ下さい。